

KAGAWA アンバサダーからのお便り～安藤光浩さん～

《ゴヤの『ロス・カプリチョス』は、なぜ永遠の真実なのか？》



18世紀最後の年1799年、フランシスコ・デ・ゴヤ（スペインの画家1746–1828）の版画集『ロス・カプリチョス（邦訳：気まぐれ）』が発表されました。15～17世紀に栄華を誇ったスペインは没落し、フランス、イギリスが「近代」と呼ばれる扉を開こうとしていた時代です。

この版画集は、当時先進的とされたフランスと比べて、旧来の悪習が残っているスペイン社会を風刺しているそうです。

世紀が明け、1808年。理性と啓蒙を掲げた英雄ナポレオン軍がスペインにやってきました。しかし、そこでゴヤが見たものは、暴虐と殺戮を繰り返すフランス軍の姿。そして、対仏独立戦争へと大きく歴史が動く。この様子もまた版画集『戦争の惨禍』として後世に残されました。

いづれの版画集も、権力者の目に触れることを恐れたゴヤの友人たちの手によって、秘かに配布されました。徐々に世界中の知識者の間に流布されていきました。

当時の社会を風刺した作品群が、時代を超えて現代人を惹きつけてやまないのは、いくら時間や環境が変わっても、変わらない人間の本質を描いているからだと言われています。

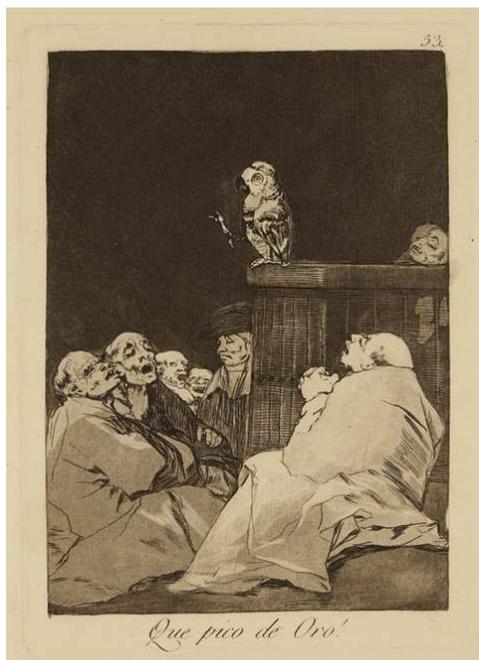
全 80 点のエッチング作品集『ロス・カプリチヨス』の中から、何点かを並べてみました。



「理性の眠りは怪物を生む。」
理性が放棄された世界では、「無知」や「愚行」が横行する。



倒れかかっている石板（国家）を支えている痩せさらばえた名もなき人達。
その下で安眠をむさぼる肥えた為政者。



Que pavo de Oro!

権威ある専門家が集まった会議の結果を発表しています。あまりの愚策に言葉を失う。
しかし、民衆はことば巧みな演説に騙されて盲従する。

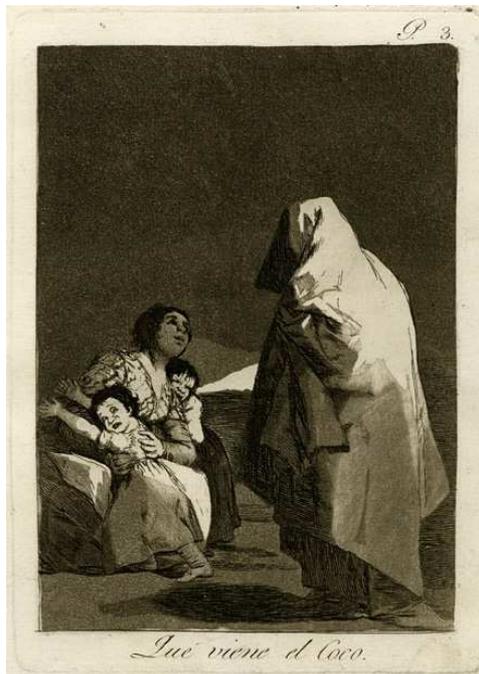


Tu que no puedes.

若い世代が負の遺産を背負わされています。



生徒の方がはるかに優れている。因習的な教育者への皮肉とされています。



いい子にしてないとお化けが来るぞ！
脅しで子供を教育するのは最低の行為だ。正しい教育は知識によって。



徳を説くあなたは何を隠し持っているのですか？賄賂から手を離そうとしない。



根拠のない悪意に満ちた噂をまき散らすのをやめてくれ。
今の SNS の世相を連想させます。

いかがでしたか。

コロナの影響で人心が乱れている昨今、改めてゴヤの作品を見返して、相も変らぬ人間の愚行に目を向けてみるのもまた重要なことかもしれません。

早く、世界中の美術館を普通に巡れる日々が戻ってきてほしいものです。

2020年8月

安藤光浩



安藤 光浩（あんどう てるひろ）さん

居住地：スペイン（トレド）

現代美術家。善通寺市出身。

2008年、欧州で最も権威ある現代美術賞のひとつ

「BMW賞」受賞、スペイン王妃より褒章授与。スペイン三大現代美術展すべてでグランプリ受賞。王立芸術科学歴史アカデミー客員。

◇ KAGAWA アンバサダーについて

香川の魅力を世界へ発信するとともに、本県の諸課題に対する情報提供、活動、提言等を行っていただく大使です。主に世界を舞台に活躍している香川県出身者や県にゆかりのある方で、各界から候補者の推薦を受け、識者による選考後、知事が委嘱しています。

◇ KAGAWA アンバサダーからのお便りについて

県民の方々にKAGAWAアンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されているKAGAWAアンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。